

若者等活動拠点施設整備に向けた検討会(平成30年度第1回)結果報告

日時 平成30年5月14日(月) 午後7時00分～8時30分

場所 高山市役所 2階 201・202会議室

出席者 検討メンバー 31名

事務局(高山市企画課、文化財課、都市政策部、飛騨高山大学連携センター)9名

内容

1. あいさつ(開会) 北村課長

- ・昨年度からの議論を深め、来年度の工事に向けた建物改修の設計、運営も含めた検討を一緒に考えさせてもらいたい
- ・事務局、関係課メンバー紹介

2. 内容

(1)文化財・伝統的建築物等の勉強会 牛丸係長

紙及びパワーポイント資料により説明

○村半徹底解剖

- ・村半は明治、大正、昭和の痕跡、昔の暮らしが分かる高山の町を語るのに非常に良い建物
- ・紅殻塗り、板連子、前庭の塀に設けられた賓客の入口、小庇、蔭戸、格子
- ・本座敷、良材が使用された床の間、モダンな欄間
- ・囲炉裏、縄で固定された吊り棒、箱膳(マイ食器)、すすけた梁や天井
- ・養蚕関係で使用された2階、年代の違う土蔵、室(昔の冷蔵庫) → 昔は3軒の家だった

○高山市のまちなみ保存

- ・市民の取組み、町並み保存会、屋台組
- ・伝統的建造物群保存地区、規制と補助、修景と修理(外被のほか構造体力上必要な柱、基礎等)

○まとめ

- ・村半は戦後の改造が少なく、歴史の分かる貴重な建築物。当時の暮らしの分かるような整備が望まれる

質疑

Q.繭倉庫の開口部があれほど大きかった必要性はなぜか

A.二階の梁の跡などから、建築当時は通常の住宅だったものを大空間に改修したと思われる。繭など軽い荷物を積んだ背の高い荷車が入れるようにしたなどが考えるが詳細不明、調べてみる

A.繭市場であったとの古文書がある(検討メンバー)

(2)平成30年度スケジュール(案) 前田

資料に基づき説明、質疑等はなかった

- ・6/10、9/2には有識者(大学教授)の日程をセットした。それ以外の青い丸印付近で検討会を予定
- ・現地での検討会、館内の清掃ワークショップ、高校生によるイベント試行なども実施していきたい

3. 閉会

- ・次回以降は、近いうちに案内させていただく
- ・一年間よろしくお願いいたします

以上